

# 姫路市：姫路城ゼロカーボンキャッスル構想～世界遺産・国宝「姫路城」から始まる脱炭素ドミノ～

脱炭素先行地域の対象：姫路城周辺エリア（電力消費エリア）、市所有の遊休地13地点（再エネ導入エリア）

主なエネルギー需要家：【姫路城周辺エリア】世界遺産・国宝「姫路城」をはじめとした公共施設13施設

共同提案者：関西電力株式会社

## 取組の全体像

世界遺産・国宝「姫路城」を中心に主に特別史跡指定区域内にある周辺公共施設について、郊外市有遊休地に太陽光・蓄電池を設置し**オフサイトPPA**により再エネ供給を行い**ゼロカーボンキャッスル**を実現し、観光地としての魅力・ブランド力等の向上を図る。あわせて、文化財保護法の規制がある同区域内における**次世代型太陽光**の導入可能性について検討する。また、EVバス、EVタクシー、FCVタクシー等への補助を拡充し相乗効果を図る。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

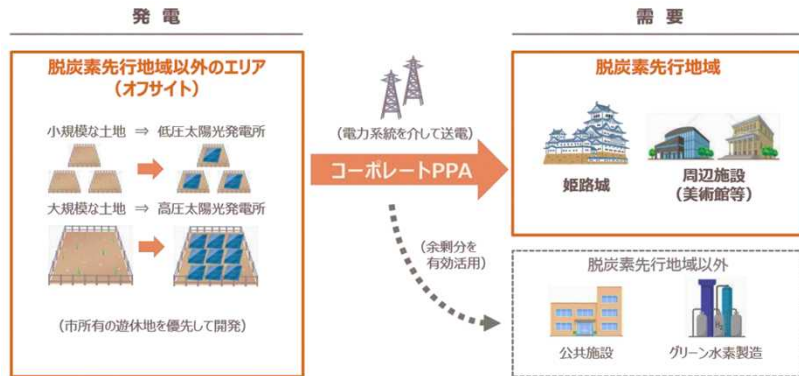
#### ①【姫路城周辺エリア（電力消費エリア）】

主に文化財保護法の規制がある特別指定区域内にある公共施設13施設について、LED化や空調熱源改修等の省エネ化を進めるとともに、中長期的な視点で、**次世代型太陽電池**の導入可能性を検討



#### ②【再エネ導入エリア】市所有の遊休地において、太陽光発電設備（計約7,418kW）を新設し、共同提案者の関西電力の**コーポレートPPA**にて、再エネ電力を

姫路城周辺エリアの公共施設へ供給するとともに、**大型蓄電池**を設置



### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① コーポレートPPAにて発生する余剰電力を活用して「**グリーン水素**」製造を検討し、グリーン水素は製造業や市内を走るFCバス等の事業者へ供給することで、**産業部門や運輸部門の脱炭素化**を促進

② 市内の事業者に対し、5年間で自家用・事業用自動車の**次世代自動車の導入補助拡充**(EV700台、EVタクシー50台、EVバス4台、FCV63台、FCVタクシー10台)し、市民の脱炭素への意識醸成を推進

### 3. 取組により期待される主な効果

- ① ゼロカーボンキャッスルを実現するとともに、姫路城世界遺産登録30周年事業(2023年)等の観光施策との相乗効果を生み出すことにより、**観光地としての魅力とブランド力を向上**。その結果、旅行者などの国内外から訪れる「交流人口」を増やすことにより、定住人口の減少を補い、**地域の活力の維持・向上**につなげる
- ② 太陽光発電設備導入促進や**次世代自動車の普及促進等の脱炭素施策を支援**し、地域全体で国際競争力を獲得した強固な産業基盤が形成され、環境と経済の好循環を加速し、**地域経済のさらなる発展**へとつなげる

### 4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	省エネ機器の導入（LED化・空調改修）			
	コーポレートPPA(低圧)			
	コーポレートPPA(特別高圧・高圧)			
			次世代型太陽電池の導入検討	
		大型蓄電池の活用		
	次世代自動車の普及促進			
	グリーン水素の製造			

※破線施策の実施有無はFS等を踏まえて判断